

---

# 応用言語学特論

---

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

---

大津 由紀雄 (おおつ ゆきお)

---

## ■ 授業の概要

応用言語学について、応用言語学研究科の担当教員がさまざまな角度からオムニバス形式で講ずる。

## ■ 到達目標

一般目標：じぶんのあたまでものを考えられる状態になる。

個別目標：広い視野から応用言語学に関するさまざまな知見を得ると同時に、

## ■ 履修条件

必修科目

応用言語学研究科前期課程の 1 年生・前年度に特別な事情で履修しなかった 2 年生。

## ■ 評価基準・方法

各回での課題の遂行、及び期末に課するレポート等を総合して評価する。

## ■ 教科書

各講師が授業ごとに必要な資料を配布する。

## ■ 参考書

授業時に必要に応じて指示する。

## ■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

### 授業内容

- 04/04 大学院での研究に対する心構え：大津由紀雄
- 04/11 応用言語学とはなにか：大津由紀雄
- 04/18 複言語主義とはなにか：大津由紀雄
- 04/25 機能主義的言語研究（1）：津留崎毅
- 05/09 機能主義的言語研究（2）：津留崎毅
- 05/16 社会言語学（1）：嶋田珠巳
- 05/23 社会言語学（2）：嶋田珠巳
- 05/30 現代中国の文学（1）：河村昌子
- 06/06 現代中国の文学（2）：河村昌子
- 06/13 ポストコロナルとしての言語問題（1）：中川仁
- 06/20 ポストコロナルとしての言語問題（2）：中川仁
- 06/27 言葉の使用と発話理解（1）：荻原稚佳子
- 07/04 言葉の使用と発話理解（2）：荻原稚佳子
- 07/11 異文化間コミュニケーション研究の意義と主な研究領域：原和也
- 07/18 異文化間コミュニケーション論の調査方法の一例－質問紙法の基礎：原和也
- 09/19 日本人と日本語（1）：片桐史尚
- 09/26 日本人と日本語（2）：片桐史尚
- 10/03 日本語教育にいかす第二言語習得論（1）：木山三佳
- 10/10 日本語教育にいかす第二言語習得論（2）：木山三佳
- 10/17 CEFR から学ぶ英語教育（1）：高田智子
- 10/24 CEFR から学ぶ英語教育（2）：高田智子
- 10/31 Philosophy of Language; An Over-view（1）：ジェシー・グラス
- 11/07 Philosophy of Language; An Over-view（2）：ジェシー・グラス
- 11/14 敦煌学概説（1）：遊佐昇
- 11/21 敦煌学概説（2）：遊佐昇
- 11/28 言葉の意味・用法の変遷（1）：佐々木文彦
- 12/05 言葉の意味・用法の変遷（2）：佐々木文彦
- 12/12 中国語文法研究史の概説：劉勳寧
- 12/19 中国語文法記号の紹介：劉勳寧
- 01/09 取りまとめ：大津由紀雄ほか

### 事前学修

各回の授業内容を確認して、その概要を調べておく。

### 事後学修

各講師の講義内容を整理し、自分なりの問題意識を持つ。

# 英語教育カリキュラム開発特論

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

高田 智子 (たかだ ともこ)

## ■ 授業の概要

CEFR の理論的・教育的背景およびコミュニケーション言語活動について学び、日本の英語教育において、CEFR をどのように指導や評価に活用できるのかを検討する。日本の学習指導要領の目標・内容を CEFR の視点から考察する。

## ■ 到達目標

一般目標：CEFR を読み、理論的および教育的背景を理解する。

コミュニケーションのために言語を学び、使うという視点から英語教育を考える視座を得る。

個別目標：CEFR の理論的および教育的背景を説明することができる。

想定する学習者が達成可能な学習目標を設定し、目標達成のための指導および評価の適切な方法を考え、決定することができる。

## ■ 履修条件

日本の英語教育に関心をもってのこと。

## ■ 評価基準・方法

文献ノート 50%、期末レポート 50% の結果に基づき総合的に評価する。

## ■ 教科書

欧州評議会 [編] 吉島茂・大橋理枝 [訳] (2004) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠』朝日出版社

キース・モロウ [編]・和田稔 他 [訳] (2013) 『ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) から学ぶ英語教育』東京：研究社

## ■ 参考書

Van Ek, J. A. & Trim, J.L. M. (1990). Threshold 1990. Cambridge University Press.

Council of Europe. (2017). Common European framework of reference for languages companion volume with new descriptors.

投野由紀夫 編 (2013) 『英語到達度指標 CEFR-J ガイドブック』大修館

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：CEFR を活用するには 事前学修 0.5hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。	16 回	授業内容：一般的能力 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：小・中の学習指導要領の該当箇所を CEFR の視点から検討する。
2 回	授業内容：CEFR はなぜ重要か 事前学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。	17 回	授業内容：コミュニケーション言語能力：言語能力 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：小・中の学習指導要領の該当箇所を CEFR の視点から検討する。
3 回	授業内容：複言語主義とは何か 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：投野 (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。	18 回	授業内容：コミュニケーション言語能力：社会言語能力・言語運用能力 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：中・高の学習指導要領の該当箇所を CEFR の視点から検討する。
4 回	授業内容：行動中心の考え方 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：投野 (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。	19 回	授業内容：教師の役割・学習者・メディアの役割 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
5 回	授業内容：コミュニケーション言語能力 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。	20 回	授業内容：言語構造的な能力を伸ばす 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
6 回	授業内容：共通参照レベル 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。	21 回	授業内容：社会言語能力を伸ばす 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
7 回	授業内容：例示的能力記述文 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：Van Ek & Trim (1990) を読み、想定する教育環境への活用を考える。	22 回	授業内容：言語教育におけるタスク 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：想定する教育環境にタスクをどのように取り入れるか考察する。
8 回	授業内容：能力記述文の尺度の使い方 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：Van Ek & Trim (1990) を読み、想定する教育環境への活用を考える。	23 回	授業内容：タスクの種類 事前学修 2.0hr：中・高の検定教科書が扱うタスクの条件や制約を分析する。 事後学修 2.0hr：想定する教育環境にタスクをどのように取り入れるか考察する。
9 回	授業内容：CEFR-J：CEFR 準拠の英語到達度指標 事前学修 2.0hr：投野 (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：投野 (2013) の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考える。	24 回	授業内容：タスクの難易度 事前学修 2.0hr：中・高の検定教科書が扱うタスクの条件や制約を分析する。 事後学修 2.0hr：想定する教育環境にタスクをどのように取り入れるか考察する。
10 回	授業内容：言語使用のコンテキスト 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考える。	25 回	授業内容：カリキュラム作成の選択肢 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
11 回	授業内容：コミュニケーション課題とコミュニケーションの目的 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考える。	26 回	授業内容：CEFR と中学校用シラバス 事前学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
12 回	授業内容：コミュニケーション言語活動：産出活動と方略 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR Companion Volume を参考に、言語活動について考察する。	27 回	授業内容：評価の種類 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
13 回	授業内容：コミュニケーション言語活動：受容的活動と方略 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR Companion Volume を参考に、言語活動について考察する。	28 回	授業内容：学習者の学びを支える自己評価 事前学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
14 回	授業内容：コミュニケーション言語活動：相互行為活動と方略 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR Companion Volume を参考に、言語活動について考察する。	29 回	授業内容：ヨーロッパ言語ポータルフォリオ 事前学修 2.0hr：モロウ (2013) の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、想定する教育環境への活用を考察する。
15 回	授業内容：コミュニケーション言語活動：仲介活動と方略 事前学修 2.0hr：CEFR の該当箇所を読み、要点と疑問点を書いておく。 事後学修 2.0hr：CEFR Companion Volume を参考に、言語活動について考察する。	30 回	授業内容：総括 事前学修 2.0hr：1 年間の学びを振り返る。 事後学修 1.0hr：1 年間の学びを振り返る。

# 言語教育評価特論

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：前 2

熊澤 孝昭 (くまざわ たかあき)

## ■ 授業の概要

学習者の語学能力を妥当に測定・評価して、得点を解釈ならびに使用するために必要な理論と方法を学ぶ。まず、テストの目的とそれに応じたテストの種類について概観する。そして、実践的なテスト作成も試みるとともにテストの信頼性・信頼度・妥当性といった概念についての理解を深める。さらに、実際のテストデータを使用して、エクセルなどを用いて統計的分析を行い、その解釈方法について学ぶ。

## ■ 到達目標

一般目標：言語テストの実施目的、種類、開発、分析・評価についての基礎知識を修得するとともに、実際のテストデータを使用して、語学教員として必要最低限の実践的な評価技能を身につけることを目標とする。

個別目標：言語テストの実施目的、種類、開発、分析・評価についての基礎知識を修得することができる。

実際のテストデータを使用して、語学教員として必要最低限の実践的な評価技能を身につけることができる。

## ■ 履修条件

特になし。

## ■ 評価基準・方法

平常点 (出席および授業への参加度 (30%)、テスト作成・分析 (40%)、定期試験 (30%))

## ■ 教科書

Brown, J. D. 著, 和田稔訳「言語テストの基礎知識」大修館

平井明代編「教育・心理系研究のためのデータ分析入門」(第2版)東京書籍

平井明代「テスト問題・教材再利用のすすめ：TEASY 理論編」丸善プラネット株式会社

## ■ 参考書

Brown, J. D. Testing in Language Programs, NY: McGraw-Hill.

## ■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：ガイダンス (シラバスおよび科目概要の説明) 事前学修 2.0hr: シラバスを読む 事後学修 2.0hr: 科目概要を理解する	16 回	授業内容：t 検定 事前学修 2.0hr: t 検定についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
2 回	授業内容：言語テストの実施目的と種類 事前学修 2.0hr: 言語テストの実施目的と種類についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	17 回	授業内容：分散分析 事前学修 2.0hr: 分散分析について読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
3 回	授業内容：テスト採用, 改良, 開発 事前学修 2.0hr: テスト採用, 改良, 開発についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	18 回	授業内容：多元配置分散分析 事前学修 2.0hr: 多元配置分散分析についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
4 回	授業内容：言語テスト項目 事前学修 2.0hr: 言語テスト項目についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	19 回	授業内容：分散分析の応用 事前学修 2.0hr: 分散分析の応用についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
5 回	授業内容：相対評価に用いるテスト項目の分析 事前学修 2.0hr: 相対評価に用いるテスト項目の分析についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	20 回	授業内容：相関分析 事前学修 2.0hr: 相関分析についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
6 回	授業内容：絶対評価に用いるテスト項目の分析 事前学修 2.0hr: 絶対評価に用いるテスト項目の分析についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	21 回	授業内容：回帰分析 事前学修 2.0hr: 回帰分析についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
7 回	授業内容：テスト結果の表し方 事前学修 2.0hr: テスト結果の表し方についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	22 回	授業内容：因子分析 事前学修 2.0hr: 因子分析についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
8 回	授業内容：テスト得点の解釈 事前学修 2.0hr: テスト得点の解釈についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	23 回	授業内容：構造方程式モデル 事前学修 2.0hr: 構造方程式モデルについてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
9 回	授業内容：テストの相関性 事前学修 2.0hr: テストの相関性についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	24 回	授業内容：一般化可能性理論 事前学修 2.0hr: 一般化可能性理論についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
10 回	授業内容：テストの信頼性 事前学修 2.0hr: テストの信頼性についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	25 回	授業内容：項目応答理論 事前学修 2.0hr: 項目応答理論についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
11 回	授業内容：テストの信頼度 事前学修 2.0hr: テストの信頼度についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	26 回	授業内容：ラッシュモデル 事前学修 2.0hr: ラッシュモデルについてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
12 回	授業内容：テストの妥当性 事前学修 2.0hr: テストの妥当性についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	27 回	授業内容：テストの等化 事前学修 2.0hr: テストの等化についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
13 回	授業内容：中間総括 事前学修 2.0hr: 全回の内容を復習する 事後学修 2.0hr: 全回の内容を復習する	28 回	授業内容：項目バンク 事前学修 2.0hr: 項目バンクについてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える
14 回	授業内容：中間試験 事前学修 2.0hr: 全回の内容を復習する 事後学修 2.0hr: 未学習の内容を復習する	29 回	授業内容：期末総括 事前学修 2.0hr: 全回の内容を復習する 事後学修 2.0hr: 全回の内容を復習する
15 回	授業内容：基本統計 事前学修 2.0hr: 基本統計についてを読む 事後学修 2.0hr: 課題を終える	30 回	授業内容：期末総括 事前学修 2.0hr: 全回の内容を復習する 事後学修 2.0hr: 未習熟の内容を復習する

---

# 一般言語学特論

---

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

---

嶋田 珠巳 (しまだ たまみ)

---

## ■ 授業の概要

言語学の基礎的知識と考え方を養成する。ひろく言語学および応用言語学分野で修士論文に取りかかるための、思考力、読解力、理解力、批判的考察、調査、発表をふくめた、「研究基礎力」を養成する。

## ■ 到達目標

一般目標：言語学の考え方や研究諸分野の知識を身につける。

個別目標：1. 基本となる概念について理解し、例をあげて説明することができる。

2. 教科書の記述と授業内容を手がかりに、関連した文献を見つけ、内容を検討することができる。

3. 修士論文にとりかかるための研究基礎力を養う。

## ■ 履修条件

主体的に取り組む気持ちのあること。基礎的な英語力のあること。

教科書にとどまらず、その他の文献に積極的にあたり、クラス全体で理解を深める気持ちのあること。

## ■ 評価基準・方法

評価基準：到達目標の1～4ができていないか、あるいはその到達度。

方法：授業への取り組み 70%、試験 30%。

## ■ 教科書

H.G.Widdowson (1996) Linguistics. Oxford University Press.

## ■ 参考書

適宜紹介する。

## ■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

### 授業内容

言語学の基礎知識をテキストをとおしてひととおり解説する。とくに重要な概念をめぐってはさらに文献にあたり、理解および考察を深める。

言語の性質、言語学の諸分野、分析方法、その後、言語学の各論（音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論）とすすめていく。

より深い理解に積極的な議論は欠かせない。それぞれが日々自分の研究テーマに取り組むことも自ずと求められる。

### 事前学修

その日の授業内容について自分のやりかたで準備をしておく。

### 事後学修

必要な概念を整理する、議論をまとめるなど、各自、学修内容を自分の研究に役立てるために必要なことをする。

# 理論言語学特論

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

大津 由紀雄 (おおつ ゆきお)

## ■ 授業の概要

理論言語学の基礎を学ぶ。

## ■ 到達目標

一般目標：「自分のあたまで考える」ことができるようになることがどんなにすばらしいことであるかを感じとれた状態になる。

個別目標：理論言語学の考え方、方法などをきちんと理解する。

## ■ 履修条件

第 1 回目講義に遅刻なく参加。参加できない者は、必ず、講義開始前に、oyukio@meikai.ac.jp 宛、連絡。急病などの場合は翌日までに同様の方法で連絡。例外は認めない。連絡事項があるので、履修希望者はなるべく早く講義担当者に連絡のこと。諸連絡はブログ「新浦安日記」で行うので、毎日、閲覧すること。

## ■ 評価基準・方法

最終的には受講者の数と能力が確定した時点で決めるが、当面、授業への貢献度 50 %、学年末試験 50 %ということにする。

## ■ 教科書

Chomsky, Noam. 1965. *Aspects of the theory of syntax*. MIT Press.

そのほか、必要な文献をダウンロードしてもらおう。

## ■ 参考書

適宜、講義中に紹介する。

## ■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：Housekeeping 事前学修 2.0hr：受講の心構えを作っておく 事後学修 2.0hr：大学院で学ぶことの意味をもう一度深く考える。	16 回	授業内容：復習 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
2 回	授業内容：理論言語学（1） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	17 回	授業内容：理論言語学（14） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
3 回	授業内容：理論言語学（2） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	18 回	授業内容：理論言語学（15） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
4 回	授業内容：理論言語学（3） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	19 回	授業内容：理論言語学（16） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
5 回	授業内容：理論言語学（4） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	20 回	授業内容：理論言語学（17） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
6 回	授業内容：理論言語学（5） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	21 回	授業内容：理論言語学（18） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
7 回	授業内容：理論言語学（6） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	22 回	授業内容：理論言語学（19） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
8 回	授業内容：理論言語学（7） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	23 回	授業内容：理論言語学（20） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
9 回	授業内容：理論言語学（8） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	24 回	授業内容：理論言語学（21） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
10 回	授業内容：理論言語学（9） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	25 回	授業内容：理論言語学（22） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
11 回	授業内容：理論言語学（10） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	26 回	授業内容：理論言語学（23） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
12 回	授業内容：理論言語学（11） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	27 回	授業内容：理論言語学（24） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
13 回	授業内容：理論言語学（12） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	28 回	授業内容：復習（1） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
14 回	授業内容：理論言語学（13） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	29 回	授業内容：復習（2） 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる
15 回	授業内容：復習 事前学修 2.0hr：指定された文献を読んでおく 事後学修 2.0hr：講義を復習し、疑問点などをノートにまとめる	30 回	授業内容：理解度確認 事前学修 2.0hr：これまでの講義を振り返る。 事後学修 2.0hr：総復習

# 言語心理学特論

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

大津 由紀雄 (おおつ ゆきお)

## ■ 授業の概要

生成文法理論の認知科学的基盤を明確にし、言語教育との関連について考える。多量の日本語、英語の文献を読み、議論する。

## ■ 到達目標

一般目標：「自分のあたまで考える」ことができるようになることがどんなにすばらしいことであるかを感じとれた状態になる。

個別目標：個別言語について探求することはことばについて探求することであり、それはさらに人間のこころや脳について探求することにほかならないということを実感できた状態になる。

## ■ 履修条件

第 1 回講義に遅刻なく参加。できない者は、必ず、講義開始前に、oyukio@meikai.ac.jp 宛、連絡。急病などの場合は翌日までに連絡。例外は認めない。運営方法など連絡事項があるので、履修希望者はなるべく早く担当者にメールで連絡のこと。諸連絡は「新浦安日記」で行うので、毎日、閲覧のこと。

## ■ 評価基準・方法

最終的には受講者の数と能力が確定した時点で決めるが、当面、講義への積極的参加（75%）、試験（25%）とする。

## ■ 教科書

随時、指示する。

## ■ 参考書

大津由紀雄『探検！ことばの世界』、『ことばに魅せられて 対話篇』、大津由紀雄・窪蘭晴夫『ことばの力を育む』

## ■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：認知科学とはなにか 事前学修 2.0hr：履修の理由について考えをまとめておく 事後学修 3.0hr：履修の心構えについて整理する	16 回	授業内容：認知科学と言語使用 事前学修 2.0hr：言語使用について考えをまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、言語使用とはなにかについて考えをまとめる
2 回	授業内容：認知科学とはなにか 事前学修 2.0hr：認知科学とはなにかについて考えをまとめる 事後学修 3.0hr：講義内容を踏まえ、認知科学とはなにかについて考えをまとめる	17 回	授業内容：認知科学と言語使用 事前学修 2.0hr：言語使用について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、言語使用とはなにかについて考えをさらにまとめる
3 回	授業内容：認知科学とはなにか 事前学修 2.0hr：認知科学とはなにかについて考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学とはなにかについて考えをさらにまとめる	18 回	授業内容：認知科学と言語使用 事前学修 2.0hr：言語使用について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、言語使用とはなにかについて考えをさらにまとめる
4 回	授業内容：認知科学とはなにか 事前学修 2.0hr：認知科学とはなにかについて考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学とはなにかについて考えをさらにまとめる	19 回	授業内容：認知科学と言語使用 事前学修 2.0hr：言語使用について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、言語使用とはなにかについて考えをさらにまとめる
5 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをまとめる	20 回	授業内容：認知科学と言語使用 事前学修 2.0hr：言語使用について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、言語使用とはなにかについて考えをさらにまとめる
6 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	21 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをまとめる
7 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	22 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをさらにまとめる
8 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	23 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをさらにまとめる
9 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	24 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをさらにまとめる
10 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	25 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをさらにまとめる
11 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	26 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをさらにまとめる
12 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	27 回	授業内容：認知科学と教育 事前学修 2.0hr：認知科学と教育について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、認知科学と教育について考えをさらにまとめる
13 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	28 回	授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：これまでの復習をする 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、これまでの復習をする
14 回	授業内容：認知科学と母語獲得 事前学修 2.0hr：母語獲得について考えをさらにまとめる 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、母語獲得とはなにかについて考えをさらにまとめる	29 回	授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：自分の考えを文章化する 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、自分で書いた文章を添削する
15 回	授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：これまでのまとめをする 事後学修 3.0hr：講義を踏まえ、これまでのまとめをする	30 回	授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：発表の準備をする 事後学修 3.0hr：総復習をする

# 現代英文法特論

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

津留崎 毅 (つるさき たけし)

## ■ 授業の概要

この特論では、最新の英文法を概観し、その文法観に基礎を置く研究・分析の手法を学ぶことを目的とする。ここでいう「最新の英文法」とは、基本的に、Rodney Huddleston と Geoffrey K. Pullum が中心となって編纂した定評ある文法書 The Cambridge Grammar of the English Language (CGE と略、ケンブリッジ大学出版局 2002 年刊) の内容を指すものとする。今年度は、この文法書の Chapter 7 (Prepositions and preposition phrases) を中心的に取り上げる予定であるが、受講生のニーズ (状況) により、適宜調整する。

## ■ 到達目標

一般目標：伝統的な英文法を最新の英文法の立場から見直すことによって、新しい言語学の研究成果を知ることができる。文法、特に統語論を本格的に研究する際の基盤となる知識を身につけることができる。

個別目標：・ 理論的枠組み (生成文法) について学ぶ

- ・ 統語論における基礎概念 (カテゴリー、ファンクション、構成素構造、階層構造等) を学ぶ
- ・ 前置詞に関する最新の分析を学ぶ
- ・ 英語教育への応用について考える

## ■ 履修条件

英語統語論についての基礎知識があることが望ましいが、参加者の状況を考慮し、必要であれば基礎的事項にも触れる。

## ■ 評価基準・方法

授業に対する貢献、課題の提出状況等を総合的に評価する。

## ■ 教科書

特定のテキストは使用しない。必要な資料・教材は、授業時に指示・配付する。

## ■ 参考書

Huddleston & Pullum 編著、The Cambridge Grammar of the English Language. 大学図書館、大学院院生室図書館に所蔵されている。  
(Cambridge University Press)

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	<b>授業内容：Course introduction, etc.</b> 事前学修 2.0hr: 授業概要を読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 2.0hr: 授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。	16 回	<b>授業内容：Introduction to the 2nd semester</b> 事前学修 2.0hr: 前学期の授業内容を、授業ノートを参考に総復習しておく。 事後学修 2.0hr: 授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2 回	<b>授業内容：Preliminaries (1): Theoretical framework, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.18-20 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	17 回	<b>授業内容：Chapter 7, (6): Idiomatic expressions</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.617-618 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3 回	<b>授業内容：Preliminaries (2): Basic concepts in syntax, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.20-21 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	18 回	<b>授業内容：Chapter 7, (7): 'for the sake of ...,' etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.618-622 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4 回	<b>授業内容：Preliminaries (3): Syntactic categories, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.21-22 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	19 回	<b>授業内容：Chapter 7, (8): Other types of expressions</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.623-625 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5 回	<b>授業内容：Syntactic overview (1): Sentence and clause, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.44-50 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	20 回	<b>授業内容：Chapter 7, (9): Preposition stranding</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.626-630 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6 回	<b>授業内容：Syntactic overview (2): The verb, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.50-52 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	21 回	<b>授業内容：Chapter 7, (10): Prepositions and complements (1)</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.631 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7 回	<b>授業内容：Syntactic overview (3): Adjective and adverb, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.57-59 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	22 回	<b>授業内容：Chapter 7, (11): Prepositions and complements (2)</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.631 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8 回	<b>授業内容：Syntactic overview (4): Content clauses, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.62-64 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	23 回	<b>授業内容：Chapter 7, (12): 'spoonful by spoonful,' etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の p.632 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9 回	<b>授業内容：Syntactic overview (5): Reported speech, etc.</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.64-65 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	24 回	<b>授業内容：Chapter 7, (13): Preposing in PP structure</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.633-634 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10 回	<b>授業内容：Chapter 7 (1): The category of prepositions</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.598-602 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	25 回	<b>授業内容：Chapter 7, (14): Complementation</b> 事前学修 2.0hr: CGE の p.635-642 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11 回	<b>授業内容：Chapter 7 (2): Overview</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.603-605 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	26 回	<b>授業内容：Chapter 7, (15): Modification</b> 事前学修 2.0hr: CGE の p.643-645 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12 回	<b>授業内容：Chapter 7 (3): Prepositions vs adjectives</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.606-609 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	27 回	<b>授業内容：Chapter 7, (16): Functions of PP</b> 事前学修 2.0hr: CGE の p.646 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13 回	<b>授業内容：Chapter 7 (4): Prepositions vs verbs</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.610-611 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	28 回	<b>授業内容：Chapter 7, (17): Prototypical prepositions</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.647-652 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14 回	<b>授業内容：Chapter 7 (5): Prepositions vs adverbs</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.612-616 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	29 回	<b>授業内容：Chapter 7, (18): Grammatical prepositions</b> 事前学修 2.0hr: CGE の pp.653-654 を読んでおく。 事後学修 2.0hr: 授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15 回	<b>授業内容：Review of the 1st semester</b> 事前学修 3.0hr: 前学期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr: 担当者による総復習を参考に、自分の弱点を把握、補強する。	30 回	<b>授業内容：Review of the course, Q &amp; A</b> 事前学修 3.0hr: 後学期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr: 担当者による総復習を参考に、自分の弱点を把握、補強する。

# 日・英比較文学特論

開講学科等：応用博前 | 4 単位 | 開講期：通

ジェシー グラス

## ■ 授業の概要

In this class we will focus on oral literature from Native Americans and other ethnic groups as well as the Ainu.

The first semester will be given over to a discussion of Dennis Tedlock's Finding the Center, Jerome Rothenberg's translation work and the book How To Read an Oral Poem by Jack Foley. During the second semester students will read selections from Songs of Gods, Songs of humans, translations from the Ainu songs and dances by Donald L. Phillip. Students will write two seminar papers.

## ■ 到達目標

一般目標：This class is designed to explore the topic historically and culturally. Vocabulary building, reading out-loud and pronunciation will all be emphasised.

個別目標：Students will learn about performance and performance studies.  
Students will learn about narrative strategies in oral literature.

## ■ 履修条件

Students should have a good command of written and spoken English and a desire to learn about the subject.

## ■ 評価基準・方法

Students will be expected to attend class regularly, and to produce one seminar paper per semester on a topic connected with the subject. Quality of seminar papers, class discussion, and attendance will be considered when awarding the final grade. 原則として授業回数の5分の4の出席

## ■ 教科書

Jack Foley How To Read An Oral Poem.

Dold L. Phillip. Songs of Gods, Songs of Humans.

Other selected writings.

## ■ 参考書

Japanese-English Dictionary (electronic is best) .

## ■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：Introduction to subject. 事前学修 1.0hr：Read syllabus and prepare for class. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	16 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
2 回	授業内容：Readings 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	17 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
3 回	授業内容：Readings 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	18 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
4 回	授業内容：Readings 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	19 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
5 回	授業内容：Readings 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	20 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
6 回	授業内容：Readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	21 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
7 回	授業内容：Readings 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	22 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
8 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	23 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
9 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	24 回	授業内容：W.H. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
10 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	25 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
11 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	26 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
12 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	27 回	授業内容：Analysis of selected readings. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
13 回	授業内容：First seminar paper conference 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	28 回	授業内容：Second seminar paper conference. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
14 回	授業内容：Seminar paper 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	29 回	授業内容：Conference. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.
15 回	授業内容：Seminar paper due. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.	30 回	授業内容：Seminar paper presentation. 事前学修 1.0hr：To Be Announced. 事後学修 1.0hr：To Be Announced.